

## 地域材を用いた住宅の見学会

南部アカマツ振興センター（代表：久慈地方森林組合長）と久慈地方木の地産地消推進研究会の協賛により、地域材を用いた住宅の見学会が開催（開催 11月28-30日、参加者約70名）されました。今回はその概要について報告します。

### 1 開催方法

久慈市大川目町に建築した住宅をモデルハウスとして、久慈地方木の地産地消推進研究会のパンフレット作成・配布、地域材を用いた住宅の設計概要、建築状況写真、伐採、製材、住宅建築のフロー図を作成し、説明を行いました。

### 2 アンケート結果（回答25人）

見学者の状況：20-30代が16%、40-50代24%、60代以上60%となり、男性46%、女性54%となりました。

希望住宅概要：坪数30-50は77%となり、住宅に求めるものは安価なこと31%、断熱性能28%、地域材使用26%、強度性能15%となりました。また、坪単価は30-40万円38%、40-50万円33%、30万円以下21%、50-70万円8%となりました。さらに求める耐用年数は50年が75%、100年が25%となっております。

製材品の品質：製材品として、地域材であることを全員が望む一方で、その品質として重視するのは、強度30%、地域材26%、乾燥23%、耐朽性21%となりまし

た。また、カビ等の変色は気にしない方が48%、できれば交換したいが32%、是非交換したいが20%となっております。さらに、割れに関しては、軽微な割れなら許容が36%、割れは気にならないが32%、生材でも良いから割れないものが16%、割れても乾燥材がよいが16%となっております。



住宅外観



地域材利用の様子



見学風景